



就労を
めざして



ビジネスマナー講座 コミュニケーションについて学ぼう

を開催しました！！

令和5年度「夢ふくおかネットワーク」事業の一環として、就労を目指す特別支援学校高等部生徒・保護者・教員を対象に、「ビジネスマナー講座 ～コミュニケーションについて学ぼう～」を令和5年8月17日、福岡市発達教育センターで開催しました。



↑障がい者しごと
支援センター木の実
副施設長 冨永 氏

～ 講演内容 ～

コミュニケーションについて学ぼう

- ビジネスマナーとは？
- コミュニケーションとは？
そもそもコミュニケーションって何？
- 自分も相手も大切にコミュニケーションアサーションを学ぼう！！
- 実際にやってみよう！！
やって学ぼう！！やって学ぼう！アサーション

○ 障がい者雇用の状況・定着支援について

冨永様は障がい者雇用について、理解のある企業の増加・人手不足などの状況があり、障がいのある方が就職をすることは難しくない状況であるが、継続して働き続けることには難しさを感じていると障がい者雇用の支援を行っている立場からお話をされました。

就労移行支援事業所を利用して就職した場合は、6か月間の移行支援があります。その後も支援が必要な場合は、木の实では「定着支援」のサービスがあるため利用の申し込みをすれば最大3年間、就労先への訪問・相談などの長く働き続けるための支援を行っている、就労移行支援事業所を経て就労した方の支援についてお話をされました。

○ ビジネスマナーとは？

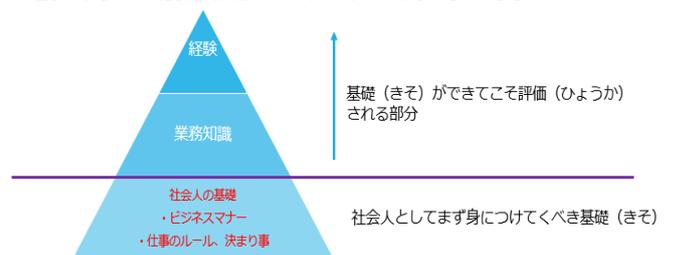


ビジネスマナーとは、仕事をする上で必要とされる相手への気配りや礼節で、相手を思いやる、作法・礼儀や決まりことを守る力を身に付けることによって、会社の方から信頼を得て長く働き続けることができるため、社会人としてまずビジネスマナーを身に付ける必要があるとお話をされました。

ビジネスマナーとは



- ・職場で信頼してもらうためにとても大切なこと
- ・仕事をするために必要な最低限のルールやマナー、相手を思いやる心



○ ビジネスマナー 「コミュニケーション」

コミュニケーションとは、「自分の思っていることを伝える・相手から伝えられる」ことで、交流を図りながら人間関係を職場で作っていくために必要なこととしたうえで、そのコミュニケーションには「言葉で伝えるコミュニケーション」と、「言葉を使わないコミュニケーション」（表情や声のトーンの大きさ、ジェスチャーなど）の2種類があり、言葉を使わないコミュニケーションも大切に気を付ける必要があるとお話をされました。

○ ビジネスマナー 「コミュニケーション」・アサーショントレーニング

コミュニケーションを上手に取るための方法の一つ「アサーション」とは、自分の意見を相手に押し付けたり、自分が意見を言うことを我慢したりせずに、話す側・聞く側が、それぞれお互いを尊重して素直に自己表現をするためのコミュニケーションスキルであるとして説明されその重要性和、アサーションを使用した人間関係の持ち方の種類やアサーションを使用したコミュニケーションの4つのステップについてお話をいただきました。

人間関係の持ち方3タイプ

- **自分よりも他の人を優先して自分のことを後回しにするタイプ**
『自分が我慢すればいいんだ』
- **自分のことだけを考えて他人のことはどうでもいいタイプ**
『自分がよければそれでいい。人は関係ないぜ』
- **自分のことをまず考えるが他の人のことも考えるタイプ**
『自分はこう思うけど、周りの人はどうだろう』

2. コミュニケーションって??

コミュニケーションの種類

コミュニケーションには、
・言葉でつたえる（言語性）コミュニケーション
・言葉をつかわない（非言語性）コミュニケーション
の2種類のコミュニケーションがあります



3. 自分も相手も大切にするコミュニケーション

自分も大切にして、相手も大切にする
そんなコミュニケーションが『アサーション』です！



また富永様は、そのアサーショントレーニングで一番大切なのが、「私は」を主語にして話すことを意識する「Iメッセージ」で、自分の気持ちを我慢せずに伝えることで、仕事のストレスをかかえたりトラブルになったりしにくくなり長く働き続けることができる、コミュニケーションにおいても「自分を大切にする」ことの重要性についてお話をいただきました。

また、上手に自分の気持ちを伝えられなくても、自分の気持ちについて考え続けることによって上手に伝えられるようになるため、あきらめずに学校やご家庭でも取り組んでほしいとお話をされ講演を締めくくられました。

～ 受講者からのご感想 ～

- **生徒** 自分のことだけではなく、相手の気持ちを大切にすることが分かりました。話すときは自分の意見も相手の意見も大事にすることを学びました。
- **保護者** 初めて参加して、自分自身もとても勉強になる話を聞いたのでよかったです。私も職場でのコミュニケーションの取り方など、考えながらしていこうと思いました。
- **教員** Iメッセージを使って、自分の気持ちを伝えることの大切さ、また相手を思いやるコミュニケーションを身につけることが自分自身のためになるということ、コミュニケーションは練習することでうまくなるということを学びました。



「清水高等学園」が開校しました!!



令和5年4月に福岡市南区清水に福岡市立特別支援学校「清水高等学園」が開校しました。清水高等学園は高等部のみの設置で、一般就労（企業への就労）または福祉的就労などを目指し、就労に特化した教育を行っています。

学校教育目標

生徒の職業的自立や社会参加を実現するために、必要な力の習得を促すとともに、一人一人のもてる力や可能性を最大限に伸ばします。

そのことにより、地域社会で自分らしく生き生きと生活できる人間、社会に貢献できる人間を育成します。

令和5年4月開校



入学するために必要なこと



入学するためには「**いろいろな力**」を身に付け、また目的をしっかりと持っていることが大切です。将来働きたい、自分が目標とする仕事に就きたい、自分の力で生活したいなどの目的や夢を持っていることが清水高等学園に入学するためには必要で大切なことです。

また進路を決めるのは担任の先生や保護者ではありません。最後は自分の考えで進路を決めることが大切です。

中学校までに身に付けてほしい力

- ・挨拶がきちんとできる。
- ・一人で通学ができる。
- ・身の回りのことが一人でできる。
- ・ルールやマナーが守れる。
- ・遅刻せずに規則正しい生活が送れる。
- ・任されたことは最後まで責任をもって丁寧に行える。

卒業後に考えられる進路先と進路決定の流れ

働く

- ・一般就労 企業・事業所
- ・福祉的就労 就労継続支援 A 型事業所
就労継続支援 B 型事業所

卒業

学ぶ

- ・就労移行支援事業所・自立訓練
- ・障害者職業能力開発校

など



清水高等学園では「知る・相談する・ためす」という学習活動を計画的に設け、進路選択を行う知識と力をつけて、進路決定につなげていきます。

どんな仕事が向いているのか、どれくらいの時間働くことができるのかなど、自分にとって最適な働き方を本人・保護者・学校と一緒に考えていきます。

「知る」「相談する」「ためす」をサイクルとして、進路決定へとつなげます。

「知る」

- 進路学習会
- 職場見学(学年)
- 職業科(学年)
- 事業所交流会

「相談する」

- 個人懇談
- 進路懇談会
- 進路相談

「ためす」

- 作業学習
- 校内実習
- 現場実習
- デュアル実習
- 庁内インターンシップ

「決める」

進路決定



作業学習



作業学習は、班に分かれて毎週火曜と水曜の週2日、全日取り組み、働く意欲や基本的な職業態度の育成、働くために必要な知識・習慣の習得を目指しています。

令和5年度は、清掃・福祉班、農・園芸班、軽作業・物品管理班の3班があり、1年間固定となっています。

作業班		活動内容
各班共通		あいさつ、身だしなみ、報告・連絡・相談、時間・ルールの意識
清掃・福祉	清掃	清掃（フロア清掃、トイレ清掃、窓清掃等）
	洗車	洗車
	福祉	除菌作業、ベッドメイキング、洗濯、タオルや衣類等の収納・整理、お茶の入れ方・出し方、食器洗い
農・園芸	農・園芸	農園芸（野菜、花）、除草作業、軽作業
軽作業・物品管理	受注	校内外からの受注作業
	OA	名刺作り、PC入力、書類整理、書類封入
	物流	品出し、前出し、商品並べ、商品管理、段ボール組み立て

パソコン室



商品管理室



洗車スペース



福祉実習室



デュアル実習（校外）



校内の学習で身につけた力を定着させるために、少人数のグループで教員の引率のもと周辺地域の企業・福祉事業所などへ行き、年間を通して継続的に短時間の実習を行います。生徒の指導は教員が行います。

現場実習（校外）



作業学習や教科の学習を行って、企業や福祉事業所へ実習に出るための準備が整った生徒から順次、1～2週間程度、実習へ行きます。

現場実習は、企業や福祉事業所の就業規則に則って実際に働く体験をし「働く習慣」「働く喜び」「働く厳しさ」「職場でのルール」「職場の方々との関わり方」などを学び、その上で、それぞれの生徒の「働く能力や適性」を評価、判断し、将来の就労につなげる目的を持っています。



現場実習までの流れ

見学



希望調査
懇談



実習依頼



実習

福祉サービス事業所への見学は、保護者が直接依頼をして行っています。
企業への見学は、学校から依頼をして見学しています。

福岡市教育委員会 発達教育センター

福岡市中央区地行浜2丁目1-6

TEL 092-845-0015 FAX 092-845-0025

E-mail yume_network@city.fukuoka.lg.jp

HP <http://www.fuku-c.ed.jp/schoolhp/hattatuc/>

「夢だより」についてのご感想、ご意見などをお寄せください。

